

研究のために、あなたのカルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん:研究期間中に下記の該当する検体を提出された方

※該当検体:血液培養検体、尿検体、喀痰検体、胸水検体、腹水検体、胆汁検体、膈分泌物検体、
関節液検体、髄液検体、ドレーン排液検体

1. 研究の題名

『 当院における自動グラム染色装置 “Mycrium” の有用性評価および判定精度に及ぼす要因解析』
＜研究期間＞ 令和8(2026)年2月1日 ～ 令和8(2026)年9月30日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞

感染症診療において、適切な抗菌薬を選択するために感染源となる菌を特定することは非常に重要なことです。多くの検査室ではグラム染色法を行っており、大まかな菌の推定が可能となっています。しかし、現状ではグラム染色は手作業で実施されており、顕微鏡での判定も熟練を要し、経験の少ない技師では結果の精度がばらつくことがあります。そのため、当院では臨床検査技師2人で鏡検をする上に、技師間差の有無を実施するなど対策をとっています。

一方、自動グラム染色装置 Mycrium は、AI を活用した自動グラム染色分析装置で、グラム染色から顕微鏡判定までを全自動で行うことができ、検査業務の効率化・省力化・ヒューマンエラーを防止できるというメリットがあります。

今回、当院における解析 AI 搭載型の自動グラム染色装置の有用性を評価し、さらに判定精度に及ぼす要因解析を行います。

＜利用方法＞ ☒利用 ・ ☐提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 令和8(2026)年2月1日 ～ 令和8(2026)年3月31日

4. 本研究で利用する試料・情報について

本研究に関して試料から以下の情報を取得します。

・検体のグラム染色結果、一般培養結果

5. 利用する者の範囲

取得した試料は、飯塚病院の下記研究責任者において使用します。

6. 試料の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

＜診療科名または部署名＞ 中央検査部

＜研究代表者名＞ 中尾 和

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望される患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの試料が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

＜連絡先＞ 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800（代表）

＜担当者＞ 中尾 和

＜内 線＞ 2516